

ハネビロエゾトンボ

Somatochlora clavata

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

腹長37～47mm、後翅長39～45mm程度。胸部は金属光沢をもつ唐金色で、2本の黄色条線を有するが、成熟した♂では前方の黄色条線が消失する個体もある。平地から丘陵地の湿地や水田脇の細流などに生息し、幼虫は流れの緩い場所の落ち葉や石下に潜んでいる。成虫は6月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、南あわじ市、加東市、たつの市、猪名川町、上郡町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

BランクからAランクに変更

新しい場所で発見されることが少なくなっており、既産地で個体数の減少も見られる。もともと生息場所が限局されている種であり、山間の流れの非常に限られた部分で生活しているので、流れの伏流化、増水による底質の変化などによって、その生息基盤は依然危うい状況にある。

保護上の留意点

生息地の流れに手をつけず、周辺樹林も保護する。